

【SDGs活動】 ボランティア団体を通信で支援しています ～ロシアによるウクライナ侵攻の支援活動～

ボーダレス WiFi サービス「スカイベリー」を提供する a2network 株式会社(エーツーネットワーク)SDGs の活動に取り組んでいます。

大きな数字で貢献することはすぐにはできませんが、世界の明るい未来の為に小さな取り組みから社会に貢献していきたいと考え活動を開始しました。

a2network の社名の由来の一つでもある「みんなで協力すること」を常に意識し、実行していくことで持続可能な社会の実現に貢献していきます。



当社の SDGs 活動の一つとして、国内外の自然災害による被災者、紛争による難民・国内避難民に、迅速かつ効果的に日本からの支援をしている、

ジャパン・プラットフォーム様へ「スカイベリーWiFi」を無償で貸し出しを行っております。

当社は、海外でも日本の料金でご利用いただけるモバイル WiFi、スカイベリーを提供しています。スカイベリーWiFi の長所である 1 台の端末で国内外で使えることを支援に役立たせることはできないかと考えた時、海外で支援活動を行っているボランティアの方々は現地での通信に困っていないだろうか疑問に思うようになりました。そこで、国内外で活動をしているボランティア団体に連絡をしたところ、お話を伺う機会を設けることができ、海外での活動の際、現地での通信は「渡航時に都度 WiFi をレンタルしている」と知りました。スカイベリーWiFi は、1 台で世界 150 の国と地域でご利用いただけます。レンタル WiFi を手配する必要

がなくなり、緊急時に瞬時に持ち出して現地に駆けつけることができます。また、支援活動をする際に屋内外問わずインターネットへの接続が可能となり活動の幅を広げることに繋がり、“スカイベリーWiFi は力になれると確信しました。

取り組みを開始した 2021 年 6 月以降、新型コロナウイルスの影響で海外での活動は出来ない状況でしたが、緊急時に備え、いつでも利用できるよう NPO 団体に WiFi を提供しており、迅速に対応できるよう体制を整えておりました。

2022 年 4 月、ロシアによるウクライナ侵攻の支援の為、周辺諸国（ルーマニア、ポーランド）での現地情勢、被災状況、支援要件の調査を実施する為の渡航にスカイベリーWiFi を活用いただきました。

【現地でのスカイベリーWiFi の活用】

- ・移動時にスマートフォンで地図を確認
- ・訪問先で情報が QR コードで示されていることも多く、情報読み込みに利用
- ・撮影した写真を移動中にアップロードすることができ、時間を有効的に活用
- ・WEB 会議など、現地と日本の情報共有に利用

スカイベリーWiFi があることで、移動中にできることが増え支援活動の幅が広がったことや、複数台での接続も可能で、快適に通信できたと団体スタッフからのお声を頂きました。人と人が協力する大切さを考えることが多い昨今 a2network は、「繋ぐ、繋がる」ことを大切に持続可能な社会づくりへの貢献を続けていきます。



<本件に関する報道関係者の問い合わせ先>

a2network 株式会社 広報・マーケティング部 佐藤

Tel: 03-5425-8777 Email: contact@a2network.jp